

Aug 3, 2020

News Release

全国初！トリドールホールディングス、外食5社連携による飼料化の「食品リサイクルループ」認定

株式会社トリドールホールディングス（東京都渋谷区、代表取締役社長 兼 CEO 栗田 貴也）は、愛知県名古屋市内の丸亀製麺2店舗において、2020年7月20日に、農林水産大臣、環境大臣ならびに厚生労働大臣による食品リサイクル法に基づく「食品リサイクルループ（再生利用事業計画）」の認定を取得しました。



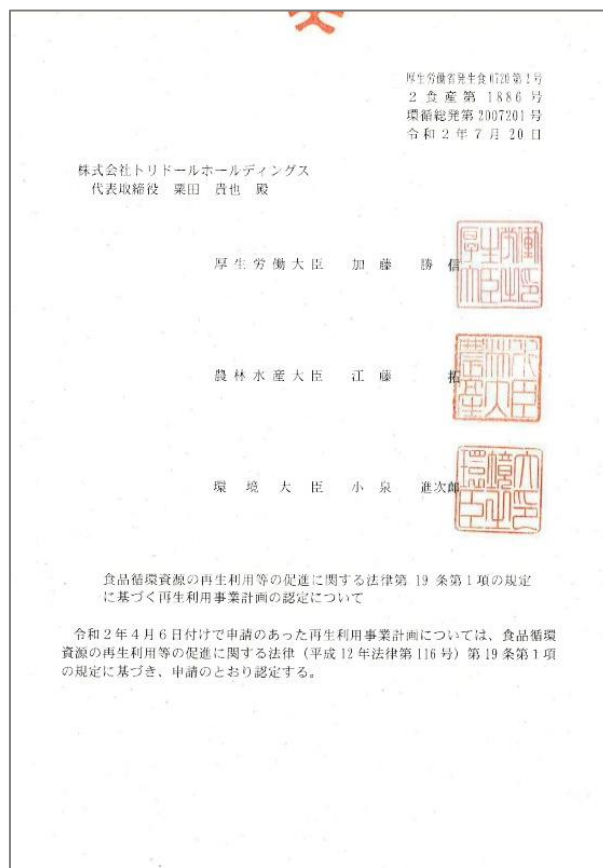
当社は、食品リサイクルや食品廃棄物削減に向けた取り組みとして、調理で使用した廃食用油のリサイクルや一部店舗での生ごみ処理機の導入を実施してきました。

今回認定を受けた「食品リサイクルループ」は、外食事業者4社(株式会社セブン&アイ・フードシステムズ様、株式会社松屋フーズ様、リンガーハットジャパン株式会社様、ワタミ株式会社様 以上50音順)と当社が運営する名古屋市内の計38店舗から出る食品循環資源(調理くず等)を飼料化し、その飼料を餌として与えて育てた鶏の卵や加工品の一部を外食事業者が買い戻し、商品の一部として使用するものです。

公益財団法人 Save Earth Foundation 様（東京都大田区、以下「SEF 様」）が事務局となり、外食事業者が企業の垣根を越えて、共同での「食品リサイクルループ」を構築し、認定にいたしました。なお、外食事業者が連携した食品リサイクル（飼料化）による認定は、全国初となります。

本取り組みでは、名古屋市内に展開する複数の外食事業者の店舗が同時に参加することで、従来、食品リサイクル実施の課題であった、自社店舗のみで回収する非効率の側面と、そこから生じる費用面の問題においても改善が図られています。さらに、事務局である SEF 様が食品循環資源の発生量や処理量、契約・許可状況等を管理することにより、安全・安心で持続可能な仕組みとなっています。

当社では、SDGs 活動の一環として、今後も、「食品リサイクルループ」の参加店舗の拡大と、新たな地域での構築を進めることで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



※今回の取り組みは、国連サミットで採択された SDGs「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」のうち、2、12、17 番の目標達成に貢献いたします。

株式会社トリドールホールディングス（証券コード：3397）

〔 本件に関するお問い合わせ先 〕

株式会社トリドールホールディングス 広報 中島・齋藤・逸見（へんみ）

TEL：03-4221-8918

E-mail：tori-pr@toridoll.com

<https://www.toridoll.com/>